

令和2年度

事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ 基本理念

一隅を照らす

— 与えられた役割を担って、価値を認められしっかりと存在する —

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ 経営指針

利用者・家族に優しい施設を目指します

(すべてを含め、利用者、家族に優しい)

地域社会への貢献を目指します

(社会福祉法人に求められている一つに地域貢献があり、保育所や小中学校との連携)

施設の充実と発展をめざします

(施設とは、狭義では職員であり、職員の充実が施設の充実になる。職員間の連携を強化し技の向上等資質を高めていく)

平成17年1月4日 社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ

理事長 武政 茂子

社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ サービス方針

■ 特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム

Sweet service (スウィート サービス)

(良きサービスは残しつつ、一歩先のやさしいサービスを提供します)

Heart to heart (ハート トゥ ハート)

(すべてのことに心のこもったサービスを提供します)

Home away from home (ホーム アウェイ フロム ホーム)

(第二の我が家のような居心地のよいサービスを提供します)

■ デイサービスセンター サムフォット

Service And Management For Old Timers

(齢を重ねゆく方々に心のこもったサービスと手助けを)

■ 居宅介護支援事業所 ポム

Peace Of Mind

(心からの安心をあなたに)

■ 在宅介護支援事業所 サイト

Settle In This Area

(住み慣れた地域で暮らす)

平成26年3月16日 社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ

理事長 武政 茂子

《 法 人 沿 革 》

平成 5 年	3 月 22 日	社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ設立認可
	3 月 25 日	社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ設立登記
	6 月 23 日	建物着工〔日本自転車振興会、高知県、高知市補助金〕 〔医療法人厚洋会寄付〕
平成 6 年	3 月 31 日	建物竣工
	4 月 1 日	高知市在宅介護支援センターかもだ 事業開始 高知市ホームヘルパー 派遣事業開始 特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム 事業開始
	6 月 1 日	ショートステイ 事業開始
	7 月 1 日	デイサービスセンター サムフォット 事業開始
平成 8 年	4 月 1 日	『ホームヘルパーステーションかもだ』と名称変更
平成 9 年	4 月 1 日	デイサービスセンター サムフォットにてホリデイサービス開始
平成 11 年	7 月 31 日	高知市在宅介護支援センターかもだ 事業廃止
平成 12 年	3 月 31 日	高知市ホームヘルパー 派遣事業廃止
平成 12 年	4 月 1 日	介護保険施設として事業開始(3事業)
平成 18 年	4 月 1 日	介護予防サービス事業開始(介護予防通所介護、介護予防短期入所生活介護)
平成 24 年	3 月 1 日	特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム 増床 (特養30床・短期入所生活介護6床)
平成 24 年	6 月 1 日	居宅介護支援事業所 ポム 事業開始
平成 26 年	3 月 24 日	小規模多機能型居宅介護事業所 サイト 事業開始 デイサービスセンター サイト 事業開始 ショートステイセンター サイト 事業開始
平成 28 年	10 月 1 日	高知市介護予防・日常生活支援総合事業 事業開始(通所介護)

《 法 人 概 要 》

【 法 人 名 】	社会福祉法人 ザ・ハート・クラブ
【代表者役職氏名】	理事長 武政 茂子
【 理 事 数 】	6名
【 監 事 数 】	2名
【 評 議 員 数 】	7名
【事務所の所在地】	〒780-8061 高知県高知市朝倉甲64番地1
【 電 話 番 号 】	088-840-7100(代表)
【 F A X 番 号 】	088-840-7480
【事業の名称・種類】	特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム 介護老人福祉施設 短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護 デイサービスセンター サムフォット 通所介護 第1号通所事業 居宅介護支援事業所 ポム 居宅介護支援 小規模多機能型居宅介護事業所 サイト 小規模多機能型居宅介護 デイサービスセンター サイト 通所介護 第1号通所事業 ショートステイセンター サイト 基準該当短期入所生活介護 基準該当介護予防短期入所生活介護

1. 法人本部

重点目標

(1) 事業戦略会議及び稼働率向上委員会の取り組みについて

事業戦略会議では、各事業所の抱える課題や改善点を明確にしたうえで、対策等についての意見を出し合い、課題解決に向けて取り組んだ。

稼働率向上委員会では、各事業所の状況分析や情報収集を行い、稼働率向上に向けての対策や方法を検討して具体的な取り組み内容について提案・発信することができた。当初の目的を概ね達成する兆しが見えてきた為、令和2年12月を持って稼働率向上委員会を終了することとした。なお、稼働率向上委員会の設置要綱における基本方針は、当法人運営にとって重要な内容である為、毎月開催している事業戦略会議に引き継ぐものとした。

(2) 介護報酬改定に向けた取り組みについて

令和3年度の介護報酬改定に向けて、研修会や説明会に参加するなどして国の方針や新たな加算の取得に対する情報収集を行った。説明会等で得られた情報については、事業戦略会議で発信するとともに、法人としての今後の方針や対策を周知・共有した。

(3) 腰痛予防対策推進委員会（ノーリフティングケア）の取り組みについて

職員に対して腰痛健康調査を行うことにより、どのような場面で身体的な負担がかかっているのか等を具体的に把握し、技術教育や個別アセスメントに反映する事ができた。

新型コロナウイルスの流行により、全体での実践的な研修を行うことが困難となったが、フロア毎や少人数でできることを模索し、取り組みを進めていくことができた。また、職場環境についても意見を出し合い、修繕や物品の購入などを検討した。

(4) 職員の負担軽減・業務の効率化に関する取り組みについて

ノーリフティングケアの取り組みにより、職員一人ひとりが身体的負担の軽減について意識することができた。

各事業所にタブレットを導入したことにより、食事量や水分量等をその場ですぐに入力できるようになった。また、Bluetooth対応の体温計や血圧計、パルスオキシメーターも併せて導入し、体温や血圧等を計測した際に自動的にシステムに反映されるようになった。しかし、3月に導入したばかりということもあって、職員がまだ機械に慣れておらず、とまどいながら使用している状況である。今後使いこなすことができるようになれば業務の効率化や職員の負担軽減が期待できる。

(5) 職員の教育・育成について

高知県介護事業所認証評価制度の認証申請に合わせてOJTシートの見直しを行った。

新卒者に対する指導の際にも、そのOJTシートを活用して、目標や達成状況などを明確化した。

しかし、教育部としての活動が十分にできていない現状がある為、その点を課題として、教育部の活性化に取り組んでいく。

(6) 感染症対策に関する取り組みについて

施設内で感染症が蔓延しないように感染対策委員会が中心となり、年間を通じて情報収集を行い、予防策や実践方法等を検討した。

次亜機能水（加湿・消毒・消臭効果）も有効活用し、出来る限りの感染対策を実施したが、12月に小規模サイタの職員1名の新型コロナウイルス感染が判明した。職員の感染が判明したのは、感染状況を把握するために小規模サイタの利用者・職員全員の抗原検査を実施した。結果、感染者は最初に感染が判明した職員1名のみで、感染が拡大することはなかった。

しかし、感染者が出た場合の対応手順等を明確に示すことが事前にできていなかったため、少なからず職員に混乱が生じた。そういった反省点を踏まえ、新型コロナウイルス感染が判明した場合の対応手順を明示したフローチャート等を新たに作成して職員へ周知した。

2. 事務局

重点目標

(1) 人材確保に関する取り組みについて

求人サイトや紹介会社等、ハローワークや福祉人材センター以外でも求人を出してみたが、コロナの影響からか人の動き自体が少なかった。見学者の受け入れを中止する期間も長かった為、思うように取り組みができなかった。また、高卒者の確保に向け、高校を訪問し法人や介護の魅力をアピールすることを考えていたが、新型コロナウイルスの影響によって出向くことすらできない状況があり、求人票を学校に送付するだけに終わった。

(2) 非常災害対策に関する取り組みについて

消防訓練について、当初の予定通り実施することができなかったが、年度中には2回実施することができた。

近い将来に南海トラフ地震が起こる可能性が高まっている為、今まで以上に防災を意識して着実に準備を進めていく必要がある。今後はより実践的な防災訓練を実施するなどして、災害が起きた際の行動を繰り返し確認していく。

(3) 地域貢献への取り組みについて

新型コロナウイルスの影響により地域の行事等の中止が相次ぐ中、平田団地の防災訓練やサイタの地域交流ルームで開催していた100歳体操・やろう会・リトル食堂も中止となり、地域の方と交流を持つ機会がなかった。

また、介護職員養成機関の講座開催場所としてサイタの地域交流ルームを貸出する予定であったが、それも中止となってしまった。

(4) 各種委員会活動の取り組みについて

職員・利用者の満足度、サービスの質の向上を目指して、各委員会で協議しながら、課題解決等に向けての取り組みを行ったが、感染予防の観点から委員会活動を自粛する期間があった。

内部研修についても開催できない期間があったが、リモートにて開催するなど、工夫を凝らしながら開催できるように取り組んだ。

(5) 高知県介護事業所認証評価の取得について

令和2年11月に申請書類を提出する。同年12月に現地調査を受け、令和3年1月に認証決定通知があった。2月12日、高知県庁にて認証事業所授与式が行われ、施設長・施設長補佐が参加した。認証有効期間は、令和3年2月12日から令和6年2月29日となっている。

【 理事会開催状況 】

開催年月日	出席者数 ／定数	議 題	理 事 (欠席者氏名)	監事出席有無 (出席者氏名)
令和2年6月5日 (決議の省略)		第1号議案 令和元年度 事業報告について 第2号議案 令和元年度 決算報告について (監査報告) 第3号議案 定時評議員会の開催について		
令和2年12月23日 (決議・報告の省略)		第1号議案 令和2年度 第1回補正予算について 第2号議案 新館改修工事について 第3号議案 施設長交代について 第4号議案 令和2年度 第2回評議員会の開催について 報告 執行状況について		
令和3年3月19日	5／6	第1号議案 令和3年度 事業計画(案)について 第2号議案 令和2年度 第2回補正予算(案)について 第3号議案 令和3年度 当初予算(案)について 第4号議案 就業規則等の変更について 第5号議案 新役員候補者の選任議案の決定について 第6号議案 評議員会の招集決定について 報告 執行状況について	竹村 邦夫	渡辺 泰方 橋本 誠

【 評議員会開催状況 】

開催年月日	出席者数 ／定数	議 題	評 議 員 (欠席者氏名)	理事・監事出席有無 (出席者氏名)
令和2年6月19日 (決議・報告の省略)		第1号議案 令和元年度 決算報告について (監査報告) 報告 令和元年度 事業報告について		
令和3年1月8日 (決議の省略)		第1号議案 令和2年度 第1回補正予算について 第2号議案 新館改修工事について 第3号議案 施設長交代について		
令和3年3月29日	5／7	第1号議案 令和3年度 事業計画(案)について 第2号議案 令和2年度 第2回補正予算(案)について 第3号議案 令和3年度 当初予算(案)について 第4号議案 新役員の選任について 報告 就業規則等の変更について	濱宇津 邦子 西岡 恭一	武政 茂子 犬丸 佐保 渡辺 泰方 橋本 誠

【職員研修】(施設内)

実施年月		研修会名	研修内容	参加職種
令和2年	4月	職員説明会	令和元年度の目標等	全職種
		第1回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種
	5月	第2回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種
	6月	合同防災訓練	平日昼間想定訓練	全職種
		救急救命講習	AED・心肺蘇生法・応急処置	全職種
		第3回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種
	7月	全体研修会	なぜ虐待をしてはいけないのか？等	全職種
		第4回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種
	8月	第5回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種
	9月	第6回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種
	10月	全体研修会	リスクマネジメントの意義を理解し実践に活かそう	全職種
		第7回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種
	11月	全体研修会	家庭で出来る食中毒及び新型コロナウイルス予防から施設での対策を考える	全職種
		全体研修会	褥瘡・誤嚥性肺炎・転倒・転落対策について	全職種
		第8回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種
12月	全体研修会	医行為(胃ろう・吸引)について	全職種	
	第9回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種	
令和3年	1月	第10回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種
	2月	第11回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種
	3月	全体研修会	看取りについて	全職種
		合同防災訓練	夜間想定訓練	全職種
		第12回 口腔ケア指導	歯と健康について	全職種

合 計 2 2 回

【職員研修】(施設外)

実施月		開催場所	研 修 会 名	研 修 内 容	参加職種
令和2年	7月	ふくし交流プラザ	採用力向上セミナー兼高知県福祉・介護事業所認証評価制度事業説明会	採用活動のセオリーから今どきの採用のあり方について 等	施設長 施設長補佐
	8月	ふくし交流プラザ	高知県老施協施設長研修会	施設のリスクマネジメント(コロナウイルス・災害)について	施設長
	9月	ふくし交流プラザ	主任介護支援専門員研修	養成研修	介護支援専門員
	10月	ZOOM	高知県カンントリーミーティング	感染症の知識と予防対策技術の指導方法について	施設長補佐 総務主任・看護職員
		ふくし交流プラザ	高知県認知症介護実践研修	認知症高齢者の介護に必要な知識・技術を身につけ実践力を養う研修	介護職員
	11月	ふくし交流プラザ	介護支援専門員更新研修	研修課程Ⅰ	介護支援専門員
	12月	高知県庁	高知県災害派遣福祉チーム(第1期)養成研修	災害時要配慮者を支援するためのチーム員を養成する研修	看護職員
令和3年	1月	ふくし交流プラザ	高知県認知症介護実践研修	認知症高齢者の介護に必要な知識・技術を身につけ実践力を養う研修	介護職員
	2月	ZOOM	高知県法人後見担当者養成研修	成年後見制度の担い手として法人後見の体制整備を促進するための研修	生活相談員 介護支援専門員・総務
		ふくし交流プラザ	社会福祉施設総合保険制度説明会	社会福祉施設総合保険制度について	総務
		ZOOM	高知県老施協栄養士研修会	食中毒・感染症対策を踏まえた食事の提供方法について 等	管理栄養士
		あんしんセンター	食品衛生法の改正並びにHACCP講習会	給食施設におけるHACCPに沿った衛生管理について 等	給食委託業者
		ふくし交流プラザ	高知県老施協第2回総会	令和3年度介護報酬改定について	施設長 施設長補佐
		ふくし交流プラザ	介護支援専門員更新研修	研修課程Ⅱ	介護支援専門員
	3月	ZOOM	リスクマネジメント研修	介護福祉士としての虐待防止と職業倫理について	介護職員
		YouTubeライブ	高知県老施協介護支援専門員・生活相談員研修会	令和3年度介護報酬改定について	生活相談員 総務
		ふくし交流プラザ	高知県老施協21世紀委員会総会	令和3年度介護報酬改定について	総務主任

合計 17 回

3. 特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホーム

重点目標

- (1) 目標稼働率 95% ⇒ 実績 93.7%

入院者の増加によって上半期の平均稼働率が92.3%と大きく落ち込んだ。特に4月、5月の入院者が多く、4月は延べ19名、5月は延べ14名の入院者数となった。下半期の平均稼働率は95.1%だったが、上半期の低迷が響き目標稼働率を達成することができなかった。

令和元年度と比べると、入居者の年間延べ人数が69名増加し、介護保険収入は約560万円の増収となった。入院者数は年間で3名減少したが、入院期間は105日増加した。平均入院期間は21日となり、令和元年度と比べて1日増加した。

- (2) 入院者減少に向けて

上半期は肺炎や尿路感染症、脱水で入院する入居者が多かったが、下半期は先述した病名による入院者が上半期と比べると減少した。これは、もっとできることはないかと模索した中で、入居者の状態が悪化してから動くのではなく、いかに予防していくかという観点からケアの見直しを行ったことによる成果が現れたのだと思われる。具体的には、陰部洗浄を毎日行って清潔保持に努めたこと、食事・水分量が少ない方に対して嗜好品等によるアプローチを行って食事・水分量を確保し、全身状態の安定に繋がったことなどである。今後も、予防的な観点からの取り組みを継続し、利用者の身体的負担の軽減を目指していく。

- (3) 誤薬事故ゼロを目指すための取り組みについて

薬の管理方法を見直したことにより、利用者が服用するまでの準備段階での入れ間違いなどのミスは格段に減った。しかし、いまだ人的なミスは存在するので、一人ひとりが確実にマニュアルに準じた対応ができるよう職員を教育し、誤薬事故を防いでいきたい。

- (4) 感染症対策に関する取り組みについて

施設が一丸となって感染対策に努めたことで、新型コロナウイルスやインフルエンザの羅漢者は出なかった。新型コロナウイルスに関して、入居者がいまだ予防接種を受けることができていないが、予防接種を受けたとしても、まだまだ未知のウイルスであることに変わりはないので、油断することなく対策を続けていく必要がある。今は色んなことで我慢を強いられるが、そう遠くない未来で、様々な制限がなくなることを願っている。それまでは、入居者と職員の健康を守るよう、できる限りの注意喚起と対策を行っていく。

- (5) 接遇マナーの向上に関する取り組みについて

新型コロナウイルス感染予防のための面会制限があり、家族との関わりが少なかったが、テレビ電話やアクリルパネルを介した対面での面会の際には、気持ちの良いコミュニケーションが図れるよう心掛けた。職員間での挨拶は通常に行えているが、疲れ等から元気がない時もあるため、ストレスの軽減を図り、気持ち良く仕事ができる雰囲気作りにも取り組んでいく。

(6) レクリエーション活動の充実について

新型コロナウイルス感染対策のため、施設のメイン行事の夕涼み会は中止となったが、その代わりに各フロアでの夏祭りを開催した。その他の行事も感染対策を行いながら実施することができた。

日々のレクリエーション活動においては、身体状態の安定を図る目的で日中に臥床する方が増えたため、参加する方が少なくなっているが、参加可能な方には積極的に参加を促し、楽しい時間を過ごしてもらえるよう取り組んだ。今後は集団レクだけではなく、個別レクも検討しながら、レクリエーション活動の充実を図っていく。

サービス内容

(1) 食事

食事の持ち込み制限や、生物等の売店購入の緩和を行ったことで、お寿司やお刺身等を食べていただく機会が増え、入居者に喜んでいただいた。

胃瘻の方が増えたが、胃瘻の方は疾病や老化に伴う嚥下機能の低下によって胃瘻となっているので、安全を優先して常食化の取り組みまでには至らなかった。

(2) 入浴

ボイラートラブルや水トラブルにより、急遽入浴できないことがあったが、日程変更や清拭に切り替えて対応することができた。入浴時には、皮膚状態の観察を行い、変化があれば医務室へ報告して対応している。また、入浴後には軟膏塗布等の対応も行っている。

(3) 排泄

排せつ支援計画に沿って、自立に向けた取り組みを行うことができた。また、夜間の安眠や個別ケアの充実を図る為、パッドの種類を増やして交換回数の削減に取り組んだ結果、入居者の安眠や、職員の業務負担の軽減、コストの削減に繋がった。

尿路感染症予防として、陰部洗浄を毎日確実に行うことができています。個々の排泄パターンについては、把握するまでには至っていないため、今後の課題として取り組んでいく。

(4) 機能訓練

令和2年度の介護力向上委員会としての取り組みとしては、食事と水分に注力したため、機能訓練に十分に目を向けることができなかつたが、食事・水分量を安定して提供することで、入居者の身体状態が安定し、日常生活動作の中での機能訓練（排泄時の立位、移乗介助時の立位等）を実施することができた。

また機能訓練指導員が、入居者の心身等の状況に応じて個別の機能訓練計画を作成し、その計画に沿って訓練を実施した。

(5) 健康管理

感染症に関しては、しっかりと予防できた。その他の病気については、もう少し予防的に介入ができたのではないかとと思われる症例もあったので、令和3年度は多職種で連携しながら情報交換を行い、入居者にとって何が一番良いのかを考えながら健康管理を行っていく。

令和2年度加算取得一覧表

スウィート・ハート・ホーム

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
日常生活継続 支援加算	36	961	27,372	94%	10,512,000	9,853,920	△ 658,080
個別機能訓練加算	12	961	27,372	94%	3,504,000	3,284,640	△ 219,360
栄養マネジメント 加算	14	961	27,372	94%	4,088,000	3,832,080	△ 255,920
夜勤職員配置加算	16	961	27,372	94%	4,672,000	4,379,520	△ 292,480
看護体制加算（Ⅰ）	4	961	27,372	94%	1,168,000	1,094,880	△ 73,120
看護体制加算（Ⅱ）	8	961	27,372	94%	2,336,000	2,189,760	△ 146,240
生活機能向上 連携加算	100 / 月	961		100%	960,000	961,000	1,000
口腔衛生管理 体制加算	30 / 月	961		100%	288,000	288,300	300
口腔衛生管理加算	90 / 月	352		37%	864,000	316,800	△ 547,200
褥瘡マネジメント加算 (3ヶ月/1回)	10 / 月	0		0%	32,000	0	△ 32,000
排泄支援加算 (6ヶ月間)	100 / 月	24		5%	480,000	24,000	△ 456,000
再入所時栄養 連携加算	400 / 月	2			8,000	8,000	
看取り体制加算 (死亡日)	1,280	5	5		64,000	64,000	
看取り体制加算 (2~3日)	680	5	9		61,200	61,200	
看取り体制加算 (4~30日)	144	4	86	※2	123,840	123,840	
療養食加算	6 / 食	120	10,429		625,740	625,740	
初期加算	30	59	816		244,800	244,800	
入院・外泊時費用	246	90	462		1,136,520	1,136,520	
					31,168,100	28,489,000	△ 2,679,100

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【日常生活動作】

(令和2年3月31日)

項目	介護状況	入居者実数	構成比	備考
歩行	自立歩行	1	1.3%	
	歩行補助器(手引き)	6	7.5%	
	車椅子	73	91.3%	
食事	自力摂取	29	36.3%	
	一部介助	19	23.8%	
	全介助	32	40.0%	
入浴	自立	0	0.0%	
	一部介助	23	28.8%	
	全介助	57	71.3%	
排泄	自立	1	1.3%	
	一部介助	27	33.8%	
	全介助	52	65.0%	
更衣	自立	1	1.3%	
	一部介助	35	43.8%	
	全介助	44	55.0%	
整容	自立	12	15.0%	
	一部介助	15	18.8%	
	全介助	53	66.3%	
意思疎通	自立	21	26.3%	
	一部介助	41	51.3%	
	全介助	18	22.5%	

【行事実績】

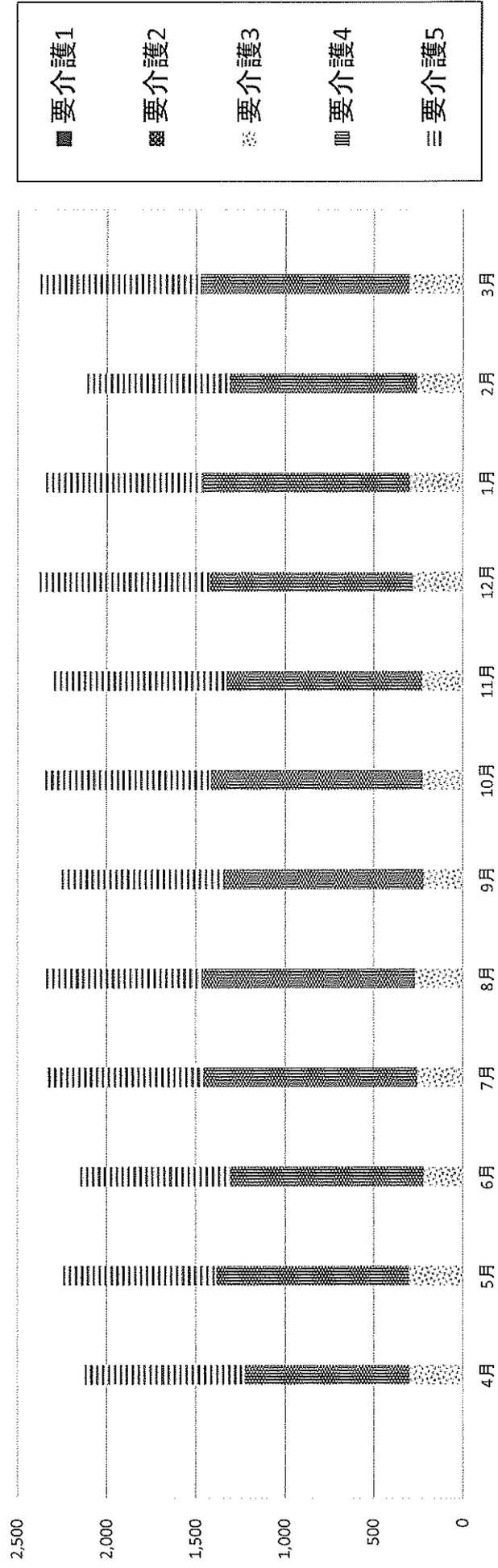
(S-ショートステイ利用者数)

実施年月	行事名	参加入居者数	内容
令和2年 4月	生け花	19名(S-4名)	4月15日
	スウィート・カフェ	76名(S-8名)	4月22日
5月	生け花	19名(S-4名)	5月20日
	スウィート・カフェ	85名(S-15名)	5月27日
6月	生け花	19名	6月17日
	あじさいドライブ	29名	6月15日16日18日22日23日25日26日
	スウィート・カフェ	84名(S-9名)	6月24日
7月	生け花	21名(S-4名)	7月15日
	スウィート・カフェ	84名(S-10名)	7月22日
8月	夏祭り(各フロアにて)	84名(S-12名)	7/29(3階)、8/12(新館)、8/19(4階)
	生け花	18名(S-2名)	8月25日
	スウィート・カフェ	87名(S-12名)	8月26日
9月	生け花	23名(S-4名)	9月16日
	敬老会	76名(S-10名)	9月23日
	夏祭りハガキ	80名	9月中に作成
	スウィート・カフェ	87名(S-12名)	9月30日
10月	生け花	15名(S-1名)	10月14日
	ハロウィンカフェ(スウィート・カフェ)	76名(S-13名)	10月28日
11月	生け花	12名	11月18日
	年賀状壁画作り		11月中に作成
	スウィートカフェ	86名(S-11名)	11月25日
12月	クリスマス忘年会	85名(S-8名)	12月24日
	年賀状作り	80名	12月18日までに作成
	生け花	19名(S-4名)	12月30日
令和3年 1月	お正月デイ	161名(S-17名)	1月1日～7日
	生け花	18名(S-1名)	1月20日
	スウィート・カフェ	79名(S-8名)	1月27日
2月	節分(豆まき)	72名(S-6名)	2月3日
	ケーキバイキング	84名(S-13名)	2月10日
	生け花	17名(S-4名)	2月17日
	スウィート・カフェ	82名(S-8名)	2月24日
3月	生け花	20名(S-6名)	3月10日
	おやつレク	75名(S-11名)	3月17日
	スウィート・カフェ	80名(S-7名)	3月31日

【入居者構成表】

要介護度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数												
要介護1																										0	0	
要介護2																											0	0
要介護3	10	297	10	299	8	218	9	253	9	265	8	217	8	223	10	226	9	279	10	296	10	255	10	299	10	299	111	3,127
要介護4	36	930	43	1,088	41	1,089	42	1,195	40	1,191	41	1,132	42	1,197	41	1,106	40	1,143	43	1,164	43	1,061	42	1,179	41	1,179	492	13,475
要介護5	33	901	32	861	32	844	32	882	30	885	31	906	31	927	32	967	31	957	29	883	29	799	29	899	29	899	371	10,711
合計	79	2,128	85	2,248	81	2,151	83	2,330	79	2,341	80	2,255	81	2,347	83	2,299	80	2,379	82	2,343	82	2,115	81	2,377	80	2,377	974	27,313

令和2年度 入居者構成表



【各種構成指標】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計／平均
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
平均要介護度	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.28
1日平均入居者数	70.9	72.5	71.7	75.2	75.5	75.0	75.7	76.6	76.7	75.6	72.9	76.7	74.6
満床率	88.7%	90.6%	92.1%	94.0%	94.4%	94.0%	94.6%	95.8%	95.9%	94.5%	94.4%	95.8%	93.7%

【保険者別入居者数】

(令和3年3月31日)

	高知市	土佐市	いの町	四万十町	土佐町	安芸市	黒潮町	合計
利用者数	70	1	4	2	1	1	1	80

【男女構成】

(毎月1日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
男性	19	16	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14	176
女性	61	63	64	66	66	66	66	66	66	66	66	66	782

【年齢構成】

(令和3年3月31日)

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	合計	平均	最低年齢	最高年齢
男性	0	0	1	2	6	2	2	1	0	14	83歳	73歳	97歳
女性	0	1	4	2	14	14	19	10	2	66	88歳	69歳	104歳
合計	0	1	5	4	20	16	21	11	2	80	87歳		

【利用者負担段階】

(毎月実人数算定)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
第1段階	6	6	6	6	6	6	5	5	5	6	6	6	69
第2段階	12	13	14	15	13	14	14	15	14	14	13	12	163
第3段階	36	38	37	38	35	35	35	36	36	37	36	36	435
第4段階	27	28	26	24	25	27	27	27	25	25	26	26	313
合計	81	85	83	83	79	82	81	83	80	82	81	80	980

【入居者】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要介護1													0
要介護2													0
要介護3	10	11	8	9	9	9	8	10	9	10	10	10	113
要介護4	38	42	42	42	40	41	42	41	40	43	42	41	494
要介護5	33	32	33	32	30	32	31	32	31	29	29	29	373
合計	81	85	83	83	79	82	81	83	80	82	81	80	980

【退居者】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要介護1													0
要介護2													0
要介護3								1					1
要介護4		2	1	1	1	1	1	1		2	1		5
要介護5	1	2	2	1		1							7
合計	1	6	4	4	0	2	1	3	0	2	1	0	24

4. 短期入所生活介護 / 介護予防短期入所生活介護

重点目標

(1) 目標稼働率 87.5% ⇒ 実績 79.7%

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用日の変更やキャンセルが相次いだこと、営業活動の制限を余儀なくされて新規利用者数が減少したことなどが影響し、目標稼働率を達成することができなかった。新規利用者42名のうち、定期的な利用につながったのは約20%だった。

令和元年度と比べると、利用者の年間延べ人数が166名増加し、介護保険収入は約330万円の増収となった。

(2) 稼働率向上に関する取り組みについて

各フロアのショートステイ担当職員と協議する場を設けて、利用者個々の置かれている状況などの情報を共有し、利用者のニーズに沿った対応を実践した。また、困難事例に対しても、一度は受入れをして専門職としてできる限りの対応を行うことで、居宅ケアマネ等の外部関係機関との信頼関係の構築、利用者の満足度向上に繋げた。

特養入院者の空床ベッドについては、相談員同士の連携によって少しずつ活用できるようになってきたが、まだまだ十分に活用できているとは言えない状況なので、もっと積極的な活用を進めていく。

(3) レクリエーション活動の充実について

他者との交流を持ちながら少しでも明るく楽しい時間を過ごすことができるように、レクリエーション内容の充実を図った。

レクリエーションに参加可能な方には積極的に参加を促し、楽しい時間を過ごしてもらえよう取り組んだ。今後は集団レクだけではなく、個別レクも検討しながら、レクリエーション活動をより充実させていく。

サービス内容

特別養護老人ホーム スウィート・ハート・ホームの事業計画に準じたサービスを提供した。

また、利用者の在宅生活の継続と充実を目指し、多職種が連携して歩行訓練等を行い、日常生活動作の維持向上と機能低下の予防に努めた。

令和2年度加算取得一覧表

スウィート・ハート・ホーム ショートステイ

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
機能訓練 体制加算	12	508	4,657	80%	700,800	558,840	△ 141,960
夜勤職員 配置加算	15	508	4,657	80%	876,000	698,550	△ 177,450
サービス提供 体制加算	18	508	4,657	80%	1,051,200	838,260	△ 212,940
送迎加算	184	428	1,472	} ※2		2,708,480	
長期利用者 提供減算	△ 30	29	560			△ 168000	
					2,628,000	4636130	△ 532350

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

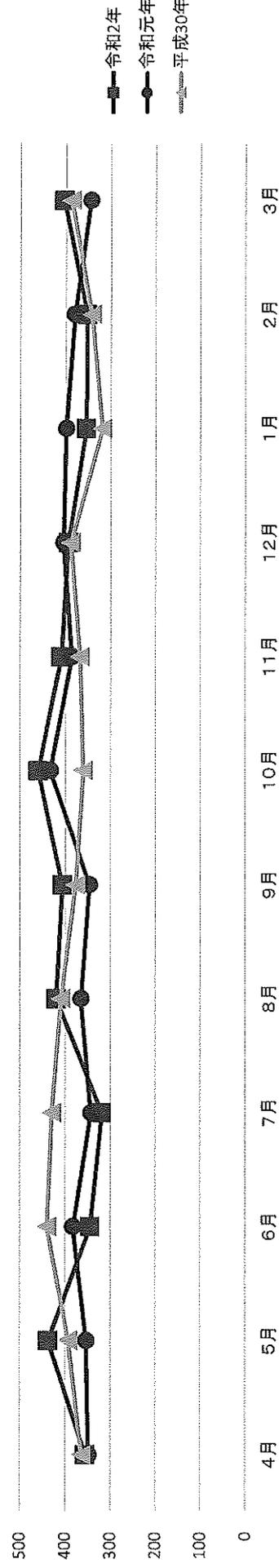
※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【ショートステイ利用者構成表】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計/平均			
	実数	延数	実数	延数																								
介護	4	9	4	22	3	10	3	14	4	21	4	18	4	6	21	5	31	6	22	7	29	5	24	6	33	57	254	
要介護1	11	75	11	88	9	67	9	68	9	87	9	77	9	6	46	7	50	8	55	7	51	12	66	7	59	105	789	
要介護2	9	96	12	139	12	98	11	84	10	101	12	106	12	12	155	11	124	13	142	13	136	13	125	12	159	140	1,465	
要介護3	8	129	9	124	13	124	13	110	16	159	18	159	15	176	14	145	15	149	15	149	10	117	10	110	11	125	152	1,627
要介護4	6	47	8	64	5	46	6	43	4	51	4	46	5	61	5	59	3	26	2	22	3	28	4	27	55	520		
要介護5	38	356	44	437	42	345	42	319	43	419	47	406	44	459	42	409	45	394	39	355	43	353	40	403	509	4,655		
合計	3.4		3.3		3.4		3.3		3.3		3.3		3.3		3.4		3.3		3.3		3.1		3.1		3.1		3.3	

事業日数	30	31	30	30	31	31	31	31	31	30	30	30	31	31	30	30	31	31	31	31	28	31	31	365
1日平均利用者数	11.9	14.1	11.5	13.5	13.5	14.8	13.6	13.6	14.8	13.6	12.7	12.7	11.5	11.5	13.0	12.6	12.6	13.0	13.0	13.0	78.8%	81.3%	79.7%	
満床率	74.2%	88.1%	71.9%	64.3%	84.5%	84.6%	85.2%	79.4%	71.6%	71.6%	79.4%	71.6%	71.6%	71.6%	81.3%	78.8%	78.8%	81.3%	81.3%	81.3%	78.8%	81.3%	79.7%	

ショートステイ利用者 延人数推移



5. デイサービスセンター サムフォット(通所介護 / 第1号通所事業)

重点目標

- (1) 目標稼働率 70% ⇒ 実績 70.3%

困難事例の利用者を積極的に受け入れたこと、送迎範囲を拡大したことなどにより、新規居宅介護支援事業所4件の発掘や新規利用者の紹介に繋がり、目標稼働率を達成することができた。

令和元年度と比べると、利用者が年間延べ人数で674名増加し、介護保険収入は約615万円の増収となった。

- (2) 稼働率向上に関する取り組みについて

新規利用者獲得の為、年間を通じて法人内の事業所をはじめ、各居宅介護支援事業所と連携を図り新規利用者発掘に努めた。新型コロナウイルス流行の為、定期的に居宅介護事業所へ訪問することはできなかったが、連絡を密に取って出来る限りの営業活動を行った。また、感染対策を講じながら、見学やお試し利用の受入れを行い、新規利用者獲得に繋げた。

新規利用者は25名獲得できたが、中重度者が多い為、ショートステイ利用や入院、施設入所される利用者が8名いた。また、新型コロナウイルス感染防止目的で、家族と同居している方や複数の持病を持っている方の利用控えが見られた。

- (3) 利用者満足度の向上について

居宅介護支援事業所や家族と積極的に関わりを持ち、利用者の状態や置かれている状況などの情報を共有・把握したうえで希望に沿ったサービス提供ができるよう努めた。

サービス利用時には、利用者と積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係の構築に努めた。

- (4) 夕食サービスの送迎と自宅での支援について

介護者の就労のための夕食サービス利用から、老々介護の介護負担軽減のための利用にニーズが変化してきている。支援内容としては変わらないが、ご家族の帰宅時間に合わせて送迎する場合と比べて、スムーズで余裕を持った対応ができるようになった。

- (5) 次期報酬改定に向けての取組みについて

介護保険の財源問題や少子高齢化による人口バランスの変化等の社会的背景により、健康寿命を延ばす取り組みが必要となっている。

令和3年度の介護報酬改定においても、自立支援・重度化防止の推進が重要なテーマとして挙げられていることから、機能訓練等を通じて自立支援・重度化防止に取り組んだ。

サービス内容

(1) 食事

食事提供については、管理栄養士による管理指導のもと、栄養ならびに利用者の身体の状況を考慮した食事を安全に提供することができた。

嚥下機能の低下により胃瘻になった方が増えているが、胃瘻になっても口から食べることを忘れてほしくないとの家族の希望があり、栄養注入だけではなく食事の提供も行った方がいた。

(2) 入浴

ご利用者一人ひとりの体調や状態を把握したうえで、必要な入浴サービスを安全に提供できるよう努めた。入浴時には全身状態を確認し、身体の変化や外傷等の有無の早期発見にも努めた。

(3) 排泄

排泄チェック表を活用して個々の排泄パターンを把握し、家族に対して情報提供や助言を行った。また、連絡帳を通じてや送迎時に排便の有無を確認し、主治医の指示のもと薬の調整や摘便処置等、排便コントロールに努めた。

(4) 機能訓練

利用者が楽しみながら身体機能を維持することができる個別、全体プログラムを考えてレクリエーションなどに取り入れ、いきいき百歳体操も毎日実施した。また、認知機能に働きかける脳トレ等を実施するなど、活動的に過ごしていただけるよう支援した。

(5) 健康状態の確認

送迎時の家族とのコミュニケーションや連絡帳を通じて家庭での健康状態を把握した。利用時には、体温・血圧・脈を測定するなど、看護職員が中心となり、利用者のその日の健康状態を確認した。また、必要に応じて家族や主治医と連携し、指示に基づいた対応を行った。

感染症に関しては、前年度に引き続き、職員、利用者共に、インフルエンザの発症は認められなかったが、新型コロナウイルスの流行に伴い、在宅での検温を含めた体調確認を継続して行った。また、感染対策委員会の指示のもと、送迎車両や事業所内の消毒の徹底やうがい・手洗いの励行、マスク・手袋の着用などを実践するとともに、職員の健康管理を行い感染予防に努めた。

(6) 送迎サービス

家庭状況や利用者の身体状況に配慮したうえで、利用者・家族の要望に沿った運行計画を作成した。また、送迎の際、必要に応じて火元、服薬の有無、荷物、鍵等を確認するなど、利用者及び家族に安心してデイを利用していただけるよう努めた。

令和2年度加算取得一覧表

サムフォット

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
中重度者ケア 体制加算	45	440	5,442	70%	3,487,500	2,448,900	△ 1,038,600
サービス提供 体制加算	18	440	5,442	70%	1,395,000	979,560	△ 415,440
個別機能 訓練加算	46	436	5,355	69%	3,565,000	2,463,300	△ 1,101,700
入浴加算	50	423	4,593	59%	3,875,000	2,296,500	△ 1,578,500
認知症加算	60	96	1,202	} ※2		721,200	
送迎減算	△ 47	34	42			△ 19740	
					12,322,500	8889720	△ 4134240

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

(日曜日、年末年始は閉所のため、開所日の310日で計算している。25名定員)

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【年齢構成】（介護予防含）

（令和3年3月31日）

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	計	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男	0	1	3	3	1	4	3	1	16	82歳	67歳	96歳
女	1	0	1	3	3	9	5	3	25	86歳	64歳	97歳
計	1	1	4	6	4	13	8	4	41	83.8歳		

【行事实績】

実施年月	行事名	内容	
令和2年	4月	ミュージックレク	楽器演奏
		読み聞かせレク	
		喫茶・誕生会	
		食事レク	
		カードゲーム	都道府県カード、あいうえおカード
	5月	カルタ	
		鯉のぼり運動会	競技演目
		家族ゲーム	カレー、チラシ、すき焼きゲーム
		喫茶・誕生会	
		出前レク	
	6月	紙芝居、読み聞かせ	
		アジサイレク	
		喫茶・誕生会	
		カードゲーム	都道府県カード、あいうえおカード
	7月	ミュージックレク	楽器演奏
		スポーツレク	
		喫茶・誕生会	
		夏祭り、ビデオ鑑賞	演目
		回想レク	
	8月	カードゲーム	都道府県カード、あいうえおカード
テーブルレク			
家族ゲーム		すき焼き、チラシ、カレーゲーム	
喫茶・誕生会			
読み聞かせレク			

令和2年	9月	カードレク	食育かるた、土佐弁カルタ
		回想レク	
		喫茶・誕生会	
		読み聞かせレク	
		敬老会	演目
	10月	おやつレク	
		ミュージックレク	楽器演奏
		喫茶・誕生会	
		運動会、スポーツレク	
		テーブルレク	
	11月	テーブルレク	文字しりとり
		ミュージックレク	楽器演奏
		誕生会・喫茶会	
		回転すし	回転すしの実演
		出前レク	
	12月	ミュージックレク	楽器演奏
クリスマス会 喫茶 誕生会		楽器演奏・ハンドベル・手品・歌謡演舞	
ビデオ鑑賞			
年始の飾りつけ		門松・正月壁画飾り	
令和3年	1月	お正月遊び	福笑い・けん玉
		書初め・初釜	抹茶・和菓子
		誕生会・喫茶会	
		ミュージックレク	楽器演奏
		フリーレク	言葉遊びレク・都道府県カード
	2月	誕生会・喫茶会	
		節分レク	豆まき
		読み聞かせ	
		テーブルレク	言葉遊びレク・都道府県カード
	3月	ミュージックレク	お雛様飾り・おひな様ゲーム
		回想レク	
		誕生会・喫茶会	
		テーブルレク	食育かるた・歌かるた・土佐弁かるた
		出前レク	

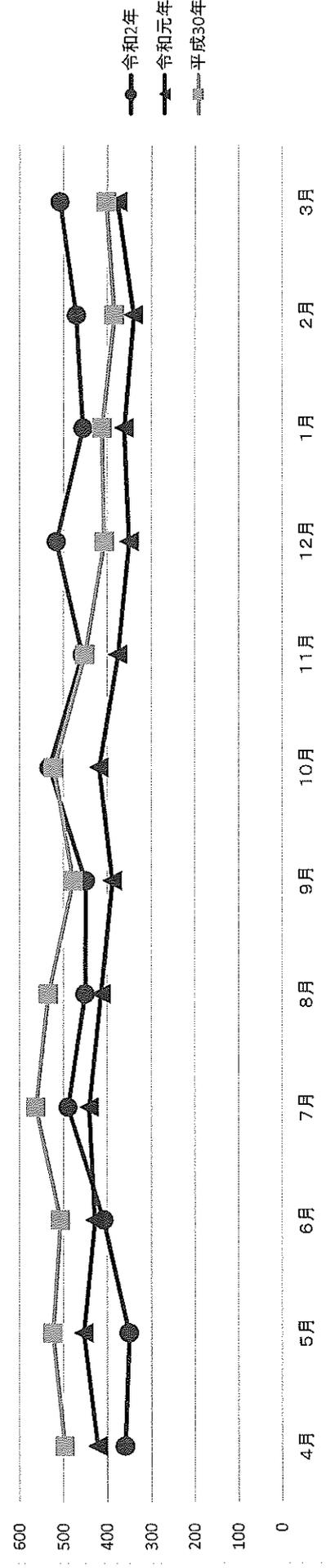
【ディスプレイセンターサムソフト利用者構成表】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計／平均		
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	
介護保険	要介護1	5	55	5	59	6	78	8	101	9	117	9	114	8	108	8	105	8	116	6	79	7	87	8	105	87	1,124
	要介護2	4	57	5	55	5	62	5	51	5	47	6	57	9	106	10	90	9	110	11	126	11	123	9	121	89	1,005
	要介護3	6	64	6	94	10	120	9	128	11	135	12	127	12	142	11	118	13	131	12	115	11	85	8	79	121	1,338
	要介護4	9	135	8	111	8	105	9	142	8	87	6	91	8	121	7	102	7	119	7	104	7	111	7	121	91	1,349
	要介護5	4	49	4	32	4	43	5	67	4	64	4	60	4	55	4	41	4	40	3	31	7	64	6	82	53	628
合計	28	360	28	351	33	408	36	489	37	450	37	449	41	532	40	456	41	516	39	455	43	470	38	508	441	5,444	
平均要介護度	3.2		3.0		2.9		3.0		2.9		2.8		2.8		2.7		2.7		2.7		2.9		2.9		2.9		

その他(総合事業合)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26	27	25	26	26	24	24	24	24	24	24	27	310
1日平均利用者数	13.8	13.5	15.7	18.1	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3	19.7	18.2	19.8	19.8	19.0	19.0	19.0	19.6	19.6	18.8	17.6	
稼働率	55.4%	54.0%	62.8%	72.4%	69.2%	69.2%	69.1%	69.1%	69.2%	69.2%	69.1%	69.1%	69.1%	78.8%	73.0%	79.4%	79.4%	75.8%	75.8%	75.8%	78.3%	78.3%	75.3%	70.2%	

サムソフト利用者 延べ人数推移



6. 居宅介護支援事業所 ポム

重点目標

- (1) 目標稼働率 95% ⇒ 実績 86.5%

新型コロナウイルスの影響により、医療機関や各関係機関へ出向いての営業活動ができなかったため、電話連絡による営業活動を行った。

しかし、十分に利用者を確保することができず、目標稼働率を達成することができなかった。

令和元年度と比べると、利用者が年間延べ人数で8名減少し、介護保険収入は約85万円の減収となった。利用者減少、減収となったことについて、年間を通じて退職者1名の欠員補充ができなかった影響もあると思われる。

- (2) 稼働率向上に関する取り組みについて

ご利用者やご家族が置かれている環境、サービスを利用する目的を理解して求められるサービス内容と対応可能なサービス内容の調整を行い、安心・満足して在宅サービスを利用していただけよう支援した。

新規利用者の発掘について、コロナ感染予防のため病院等への直接訪問はできなかったが、電話や担当者会の際に新規利用者の紹介を依頼した。

- (3) 介護支援専門員の質の向上について

事業所内の困ったことや困難事例に対しては、その都度意見交換を行い、他事業所の意見も聞くようにした。また、他事業所との事例検討会にも参加し、対応方法の検討や、意見交換を行うなどしてマネジメント力の強化を図った。

介護保険制度を取り巻く情報についても情報収集し、職員間で共有した。介護保険外のサービスについては、要望があれば情報提供している。

研修については、新型コロナウイルス感染予防の観点から積極的に参加することができなかった。

- (4) 関係機関等との連携強化について

情報提供と連絡を密に行い、利用者・家族・相談者との信頼関係や相談しやすい環境の構築に努めた。関係機関等についても、必要に応じて情報提供するなどして、連携を図った。

虐待などの相談があれば関係機関へ情報提供を行うことは職員間で共有している。

- (5) 特定事業所加算の算定について

居宅の職員が3名体制にならないと特定事業所加算を算定できない。令和2年3月より居宅の職員が2名となり、そこからケアマネ募集を行っているが、採用には至っていないため加算を算定できていない。今後3名体制になり次第、加算が算定できるように、準備していく。

サービス内容

(1) 居宅介護サービス計画の作成

利用者の置かれている状況を把握したうえで、サービス提供時における留意事項等を盛り込んだ居宅介護サービス計画書を作成した。解決すべき課題に対しては、目標の達成状況などをわかりやすく説明することを心がけ、状態の変化等が生じた際にはサービス計画書の変更も行った。

(2) 関係機関との連絡調整

必要に応じて医療機関やサービス提供先の事業所と連絡を取って情報交換を行い、利用者・家族のニーズに合ったサービスが提供されているかや、ケアプランの内容に沿った対応を行っているかなどを確認した。

(3) ニーズ調査の為の訪問の実施

利用者・家族の状況やニーズを定期的に把握するため、最低でも毎月 1 回は利用者の自宅を訪問した。また、必要に応じての訪問や時間外での電話対応などもその都度行った。

令和2年度加算取得一覧表

居宅 ポム

加算項目	単位	実人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
初期加算	300	30			90,000	
特定 事業所加算	300	0	0%	2,808,000	0	△ 2,808,000
小規模 連携加算	300	0			0	0
退院・ 退所加算	300	0			0	0
入院時情報 連携加算	200	0			0	
				2,808,000	90,000	△ 2,808,000

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

(ケアマネ一人当たり39名のため、定員78名で計算している)

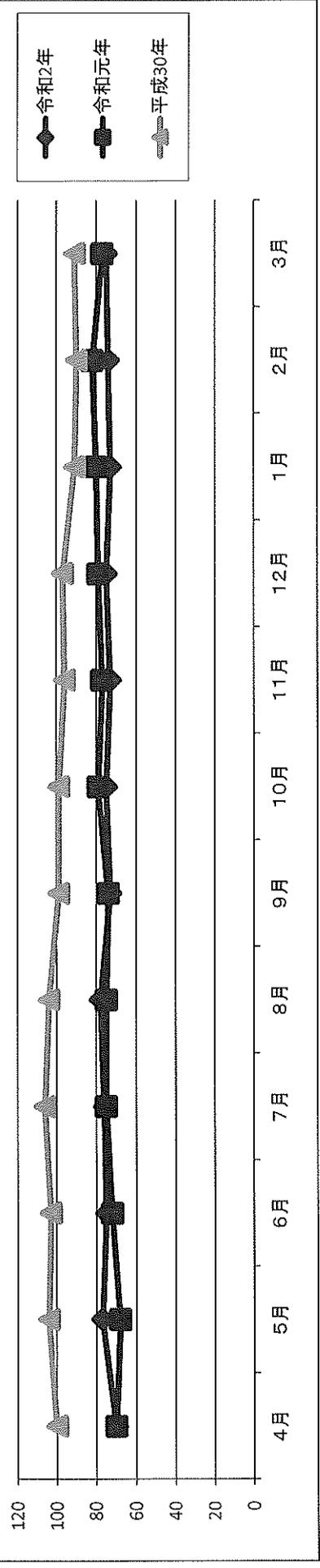
【居宅介護支援事業利用者構成表】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
	実数												
介護1	5	5	6	7	7	9	9	7	8	7	9	9	88
介護2	6	7	7	7	7	7	7	7	6	8	7	7	83
合計	11	12	13	14	14	16	16	14	14	15	16	16	171
平均要支援度	1.5	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.5	1.4	1.5	1.4	1.4	1.5

介護1	29	33	32	32	36	30	28	29	31	28	28	28	364
介護2	21	20	20	19	16	16	19	20	19	20	19	21	230
介護3	3	4	3	5	6	5	5	4	5	5	5	5	55
介護4	5	6	5	4	4	4	5	4	5	5	6	5	58
介護5	1	2	2	2	2	2	2	2	1	0	0	0	16
合計	59	65	62	62	64	57	59	59	61	58	58	59	723
平均要介護度	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8

利用者計	70	77	75	76	78	73	75	73	75	73	74	75	894
事業日数	20	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	22	241
利用率(上限39名/1人当)	82.0%	86.5%	87.8%	88.5%	91.0%	86.0%	85.9%	88.5%	87.2%	84.6%	84.6%	85.9%	86.5%

居宅介護支援利用者 延人数推移



7. 小規模多機能型居宅介護事業所 サイタ

(小規模多機能型居宅介護 / 介護予防小規模多機能型居宅介護)

重点目標

(1) 目標稼働率 94% ⇒ 実績 91%

施設入所や死去により、11名の方が利用終了となったのに対して新規登録者は9名だった。原因としては、介護職員の人材不足（産休や育休者を含む）や新規相談の減少などが挙げられる。勤務の見直しなど可能な限りの努力はしたが、結果として新規登録者の確保が十分にできず目標に達することができなかった。

令和元年度と比べると、利用者は年間延べ人数で174名増加しているが、介護保険収入は約390万円の減収となった。利用者が増加しているのに減収となった要因は、利用者の平均介護度が2.7から2.3に下がったためである。

(2) 地域との連携に向けた取り組みについて

新型コロナウイルス感染状況が落ち着いていた時期に地域交流ルームを開放したが、おとこの料理教室1回のみで開催に終わった。また、感染対策によって地域住民や行政職員が参加する地域運営推進会議の開催が全て中止となり、外部との意見交換や事業所側から発信する場を設けることができなかった。今後は感染対策を講じながら、何らかの方法で外部との交流の機会が持てるように働きかけていきたい。

地域の協力医に対しては、これまで通り随時の情報提供により早期受診の支援や退院後のサービス内容の調整に努めたことで重度化を予防し、既往歴の悪化によって入退院を繰り返す利用者はいなかった。

施設周辺地域の清掃活動は毎月実施したが、残念ながら住民との交流の機会はなかった。

(3) 稼働率向上に関する取り組みについて

顧客満足度を高めていくために、勤務体制やサービス内容を工夫するなどの対応を行った。また、サービスの質の向上を目指して、職員に対して施設内リモート研修への参加を促すことや、資格取得を推進するなどの取り組みを行った。その結果、リーダー職1名が介護支援専門員資格を取得することができ、令和3年度中には新たに計画作成者として従事させることが可能になった。

人材不足により、すぐに利用者を受入できない時があったが、急を要する相談やサービス変更者に対しては、法人内のデイや居宅などに繋げた。今後も部署間の連携により利用者確保に努めていく。

(4) 重度化対策及び在宅での看取り支援に関する取り組みについて

重度化予防として、かかりつけ医や地域の協力医に対してこれまで通り適宜情報提供を行うとともに、日々の健康管理や早期受診の支援により通院や入院を予防した。結果として、事業所や自宅での転倒による骨折事故や誤嚥による肺炎など、高齢者に多い疾患や怪我で入院する方はいなかった。

看取りケアとしては、本人の強い意向と県外に住む家族の意向により、かかりつけ医と院内地域連携室と連携して末期がんを患った一人暮らしの方の在宅支援を行った事例があった。終末期医療を希望しない本人の意向に沿って、死去する3日前まで事業所で宿泊し、臨終の際には家族に見守られながら旅立つことができた。今後もこのような相談があれば、可能な限りの支援体制を構築し、その人らしさの追求と本人の意思を尊重したケアを実施していきたい。

(5) 認知症ケアへの取り組みについて

若年性認知症の方の利用はないが、事業所の特色として、認知症を発症している一人暮らしの方の割合が約4割と高い傾向にある。そのため、現在は不在となっている認知症サポーター養成講座修了者を確保するなどして認知症への理解を深め、地域と共に認知症高齢者の支援に努めていく。

サービス内容

(1) 通いサービス

一人あたりの通いの利用回数が増加傾向である。その背景には、住宅の老朽化や就労等により介護者が不在であること、いても県外在住であることなどの理由があり、どうしても事業所に来所しなくてはいけない方が多数いた時期があった。そういった方に対しては、排泄、入浴、移動に関する自立支援をプランに盛り込み実施した。また、送迎時間や方法などを柔軟に変更することで家族の就労継続支援も行った。

(2) 泊まりサービス

今まで泊まりサービスを利用することができていなかった方に対して、通いサービスでの滞在時間の延長から始めて徐々に泊りサービスへ移行する支援を行い、介護者の負担を軽減することができた。

(3) 訪問サービス

家事援助や通院同行はもとより、在宅時の安否確認、夜間・早朝のGPSを活用した見守りサービスの実施、最寄りの警察署や公共交通機関との連携など、24時間に渡ってあらゆる工夫を凝らしながら認知症の方の徘徊による事故を防ぐための支援を行った。その結果、行方不明となった利用者を無事に保護できた事例が3件あった。

令和2年度加算取得一覧表

小規模多機能型居宅介護 サイト

加算項目	単位	実人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
看護職員配置 加算	700 /月	272	91%	2,100,000	1,904,000	△ 196,000
総合マネジメ ント加算	1,000 /月	272	91%	3,000,000	2,720,000	△ 280,000
訪問体制強化 加算	1,000 /月	272	91%	3,000,000	2,720,000	△ 280,000
サービス 提供体制	640 /月	272	91%	1,920,000	1,740,800	△ 179,200
認知症加算Ⅰ	800 /月	74	} ※2		592,000	
認知症加算Ⅱ	500 /月	23			115,000	
初期加算	30 /日	404			121,200	
				10,020,000	9,913,000	△ 935,200

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【年齢構成】（介護予防含）

（令和3年3月31日）

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	計	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男	0	0	2	0	2	1	3	0	8	85歳	72歳	94歳
女	0	0	2	0	3	4	3	0	12	85歳	72歳	94歳
計	0	0	4	0	5	5	6	0	20	85歳		

【行事实績】

実施年月	行事名	内容	
令和2年	4月	花見とドライブ(4/1・3・5)	少人数に分かれて針木浄水場へ花見に行く
		喫茶(4/10・22)	手作りのおやつと好みの飲み物で接待する
	6月	あじさい見物とドライブ(6/11・15・20)	春野六條八幡宮、春野あじさい街道散策
	7月	七夕(7/7)	ゲームや歌で七夕の雰囲気を楽しむ
		蓮見物とドライブ(7/13・16)	土佐市蓮池へ出かける
	8月	夏祭り(8/13・14)	夏祭りの屋台を再現し、職員の出し物を披露
	9月	敬老会(9/18)	出し物を披露し祝い膳でもてなす
	10月	コスモス見物とドライブ(10/20)	越知宮の前公園へコスモス見物に行く
		ハロウィン喫茶(10/30)	仮装での喫茶を開催
	11月	山北「土佐の高知のくだもの畑」でのみかん狩り	山北「土佐の高知のくだもの畑」でのみかん狩り
運動会(11/9)		交流ルームで紅白に分かれ様々な競技で戦う	
昼食会(握り寿司)(11/19)		寿司の盛り合わせを職員が盛り付け振る舞う	
紅葉見物とドライブ(11/25・26)		五台山へ紅葉見物に行く	
12月	クリスマス忘年会(12/24)	出し物や特製ケーキでクリスマス気分を楽しむ	
令和3年	2月	豆まき(2/2)	職員が鬼の仮装をして季節の行事を楽しむ
	3月	ひな祭り(3/3)	ケーキバイキング

8. デイサービスセンター サイタ（通所介護／第1号通所事業）

重点目標

- (1) 目標稼働率 85% ⇒ 実績 70%

年間を通じて新型コロナウイルスの影響を大きく受け、目標稼働率を大きく下回った。主な原因としては、感染対策として実施した、見学、体験利用の一時中止や、有料老人ホームに入居している利用者の利用制限、家族と同居している利用者の利用控えなどである。また、年明け頃より、入院者や施設入所者(近隣に新設のグループホーム)が相次いだことも稼働率に影響した。

令和元年度と比べると、利用者が年間延べ人数で565名減少し、介護保険収入も約360万円の減収となった。

- (2) 人材育成に関する取り組みについて

新型コロナウイルスの影響により、上半期は施設内研修が十分にできなかったが、下半期にはリモートでの研修を実施したことにより、研修に参加しやすくなった。今後も積極的に研修に参加し、知識や技術の向上に繋げていく。

新人育成について、令和2年度に入職した新人職員に関しては、専門学校で介護の基本の部分の勉強ができていたこともあり、比較的スムーズに知識や技術を身に付けることができていた。中途採用の職員に関しては、今までの職歴や年齢などが大きく影響することが多く、指導をする上で難しさを感じることも多かったが、生活相談員が中心となり、利用者や家族、業務に関すること等情報提供を行いながら、必要なスキルを身に付けられるよう個別での指導も行った。

- (3) 稼働率向上に関する取り組みについて

新規利用者の獲得のため、法人内の居宅や各事業所をはじめ、各居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと連携を取り情報交換に努めたが、新型コロナウイルスの流行によって、積極的な営業ができなかったこと、居宅からの問い合わせが少なかったことなどが影響し、利用者確保に苦戦を強いられた。見学の依頼は数件あったが、感染対策の一環として施設内への立ち入り制限を行っていたために断ったケースもあった。施設内への立ち入り制限緩和後は、利用者と適切な距離を取ったうえでの見学対応や、事業説明を行った。

- (4) 関係機関との連携強化について

ホームページの定期的な更新や広報誌を通じて、各居宅介護事業所や家族、地域に対して広報活動を行った。利用されている方に対しては、毎月のモニタリングを担当ケアマネに送付することで、日々の細かな情報を伝えることができた。

また法人内の別事業所を併用している利用者に関しては、事業所間での情報の共有を行い、ケアの統一が図れるようにした。

(5) 認知症に関する取り組みについて

認知症対応について、対応が困難な利用者へのアプローチが十分ではなく、苦手意識から積極的な関りを持たずに対応に困る職員がいたので、研修等を通して認知症利用者への理解や知識を深める必要がある。

帰宅要求等落ち着かない利用者に対しては、興味のある手作業等を準備したり、日々のミーティングを通して状態の確認を行ったりして、個別ケア等に関する意見交換を行った。

賑やかな環境では落ち着かない利用者に対しては、ショートステイの廊下のソファで過ごしていただくなど、静かで落ち着いた環境で過ごせるように工夫しながら対応した。

サービス内容

(1) 食事

食事は在宅生活の延長上にあることから、利用者の目の前で料理を取り分けて配膳するなど、自宅での食事風景と同様の対応を行った。また、感染症予防で当初予定していた物とは内容を変えたものの、提供の仕方を工夫したことで、例年のように行事食も提供することができた。感染状況を見極めながらおやつレクも行い、利用者と一緒に季節のお菓子作りも行った。

水分補給においても、各テーブルにポットを置くことで各自が自分の意思で飲みたい時にお茶を入れることができるようにするなど、環境に配慮した取り組みを行った。また、水分ゼリーの提供により、水分量を増やすこともできた。水分量の少ない方については、個別で水分チェックを行い、少しでも多く水分が摂れるよう促した。おやつの飲み物も選択性にし、ご利用者の嗜好に合わせたサービスを提供した。

(2) 入浴

利用者一人ひとりの介助部分を把握し、時間がかかっても自分でできることはしてもらうことを目標に、自立を目指した入浴介助を行うことができた。

午前と午後に入浴時間を設けている為、希望の時間に広い浴槽でゆったり入浴することが可能になるとともに自宅では味わえない開放的な気分になり、利用者が喜ばれている。

(3) 排泄

自立支援の観点から、自宅での排泄動作を考慮したトイレ誘導を基本として、個別に対応した。家族とも連携を取り、便秘の方には排便チェックを行うとともに、家族の依頼に合わせた浣腸や薬の調整等による排便コントロールに努めた。

(4) 機能訓練

利用者が楽しみながらできる個別及び全体プログラムを計画した。また、身体機能の維持向上に繋がるようにと、いきいき百歳体操等の体操を積極的に取り入れ、毎日取り組んでいる。体操の内容も、ゴムやボール、タオルを活用するなど、バラエティーに富んだメニューを提供し、心身ともに活動的に過ごせるよう努めた。

要支援者に対しては、毎月個別の体力測定を行い、個々の身体機能の把握と維持・向上に向けた取り組みを行った。

(5) 健康状態の確認

送迎時の家族とのコミュニケーションや連絡帳を通じて、利用者の健康状態を把握した。利用時には体温・血圧・脈を測定し、看護職員が中心となり、その日の健康状態を確認した。また、必要に応じて家族や主治医と連携し、指示に基づいた対応を行った。

新型コロナウイルスの流行に伴い、在宅での検温を含めた体調確認を継続して行った。また、デイホールのテーブルへのパーテーション設置や、うがい・手洗いの励行、マスク・手袋の着用など、感染対策委員会の指示のもと感染予防に努めた。

(6) 送迎サービス

送迎時間については、家庭状況や身体状況等、個別ニーズに応じた対応を心がけ、状況に応じて運行ルートを変更するなどして臨機応変に対応した。

送迎の際には、必要に応じて火元、荷物、鍵、注意事項等を確認するなど、利用者及び家族に安心してデイを利用していただけるよう支援した。

令和2年度加算取得一覧表

デイサービスセンター サイト

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
サービス提供 体制加算	18	502	5,226	67%	1,395,000	940,680	△ 454,320
入浴加算	50	391	3,778			1,889,000	
送迎減算	△ 47	34	42			△ 19,740	
					1,395,000	2,809,940	△ 454,320

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

(日曜日、年末年始は閉所のため、開所日の310日で計算している。25名定員)

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【年齢構成】（介護予防含）

（令和3年3月31日）

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	計	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男	0	0	0	0	3	1	0	0	4	84歳	81歳	86歳
女	0	0	2	4	4	12	12	4	38	88歳	73歳	101歳
計	0	0	2	4	7	13	12	4	42	88歳		

【行事实績】

実施年月	行事名	内容	
令和2年	4月	テーブルゲーム	カードゲーム、回想レク
		体力測定	月1回実施
		制作レク	壁画制作(藤の花、金太郎)
		誕生会	
		セルフうどん	
	5月	制作レク	壁画制作(あじさい、カエル、池)
		おやつレク	スノーボールクッキー
		体力測定	月1回実施
		誕生会	
		テーブルゲーム	言葉さがしゲーム
	6月	テーブルゲーム	うちわでパレー、新聞ちぎりゲーム
		体力測定	月1回実施
		制作レク	制作(高原列車、ユリ)
		誕生会	
	7月	体力測定	月1回実施
		制作レク	壁画制作(花火、ひまわり)
		七夕レク、読み聞かせ	七夕の紙芝居、七夕飾り作り
		夏祭り	流しそうめん、輪投げ、ヨーヨー釣り
	8月	体力測定	月1回実施
		制作レク	壁画制作(月、うさぎ、桔梗)
		カルタ	食育カルタ
		テーブルゲーム	連想ゲーム
	9月	体力測定	月1回実施
		敬老会	職員余興等
		制作レク	壁画制作(リンゴの木)
		テーブルゲーム	
	10月	テーブルゲーム	絵しりとり
		体力測定	月1回実施
壁画制作		壁画制作(紅葉、山)	
うどん実演			

令和2年	11月	持ち帰りレク	マスクケース作り
		体力測定	月1回実施
		壁画制作	壁画制作(クリスマスツリー、カレンダー)
		ミュージックレク	鳴子使用
	12月	冬の歌集レク	歌
		制作レク	クリスマスカード作り
		体力測定	月1回実施
		クリスマス会	サンタの衣装でプレゼント配り
		壁画制作	壁画制作(干支丑)
		餅つき	餅つき
令和3年	1月	お正月クイズ	正月にちなんだクイズ
		お茶会	桜茶と和菓子でのお正月
		体力測定	月1回実施
		壁画制作	壁画制作(雪山、水仙、椿)
	2月	節分	鬼おやつを配る
		スイーツカフェ	
		体力測定	月1回実施
		壁画制作	壁画制作(四国カルスト・スイートピー・牛)
	3月	ミュージックレク	鳴子使用
		体力測定	月1回実施
		テーブルゲーム	言葉ならべゲーム
		制作レク	壁画制作(枝垂桜・金魚)

【デイサービスセンターサイト利用者構成表】

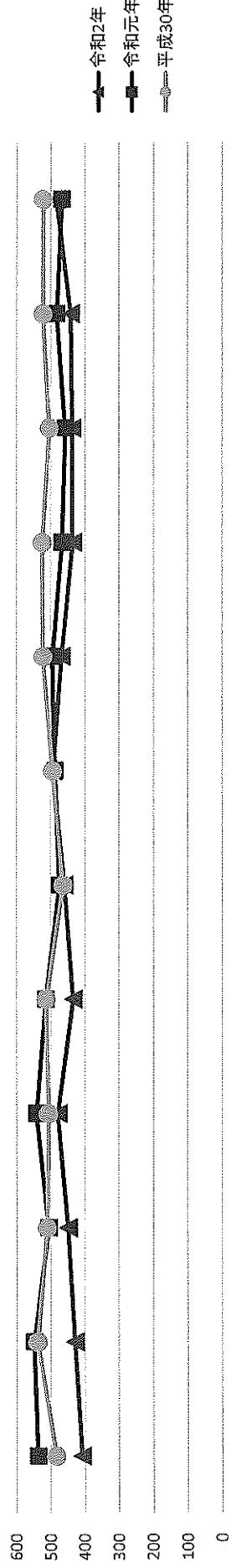
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計／平均		
	実数	延数	実数	延数																							
介護予防	2	10	2	8	1	4	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	8	29
要介護1	2	13	2	13	2	12	2	13	2	13	3	20	3	17	4	19	3	12	2	10	2	10	2	13	29	165	
要介護2	4	23	4	21	3	16	2	13	2	13	4	22	4	18	4	19	3	12	2	10	2	10	3	17	37	194	
合計	1.6	1.6	1.6	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.8	1.8	1.9	1.9	

要介護1	16	180	19	198	23	223	23	231	23	237	27	274	25	280	26	273	28	267	28	274	25	269	23	289	286	2,995
要介護2	13	135	13	146	14	149	14	174	13	132	11	114	12	131	12	122	11	85	10	87	9	87	9	92	141	1,454
要介護3	4	48	5	52	5	43	5	40	5	42	4	42	5	54	4	46	5	62	5	54	5	55	5	63	57	601
要介護4	1	11	1	12	2	18	2	22	2	10	1	8	1	9	1	9	1	10	1	12	2	20	2	23	17	164
要介護5	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	14
合計	35	385	38	408	44	433	44	467	43	421	43	438	44	477	43	450	45	424	44	427	41	431	39	467	503	5,228
平均要介護度	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	

その他(総合事業会)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

利用者計	39	408	42	429	47	449	46	480	45	434	47	460	48	495	47	469	48	436	46	437	43	441	42	484	540	5,422
事業日数	26	26	26	26	26	26	27	27	27	27	25	25	27	27	26	26	26	26	26	27	25	25	26	26	314	
1日平均利用者数	15.7	16.5	16.5	17.3	17.3	17.3	17.8	17.8	16.1	16.1	18.4	18.4	18.3	18.3	18.0	16.8	16.8	16.8	16.2	16.2	17.6	17.6	18.6	17.3		
稼働率	78.5%	82.5%	82.5%	86.3%	86.3%	88.9%	88.9%	88.9%	80.4%	80.4%	92.0%	92.0%	91.7%	91.7%	90.2%	83.8%	83.8%	83.8%	80.9%	80.9%	70.6%	70.6%	74.5%	86.3%		

デイサービス サイト利用者 延人数推移



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

▲ 令和2年
■ 令和元年
● 平成30年

9. ショートステイセンター サイタ

(基準該当短期入所生活介護 / 基準該当介護予防短期入所生活介護)

重点目標

(1) 目標稼働率 90% ⇒ 実績 79.7%

今まで定期的に長く利用されていた方が、グループホーム等へ入所されたり、死亡されたりするケースが相次いだ。12月には同一建物内で、職員1名の新型コロナウイルス陽性が判明したことを受け、大幅な利用控えがみられた。

ホーム併設ショートと連携しながら、新規利用者の獲得に努めたが、中止になった利用者の一月の利用日数に比べ、新規利用者の利用日数が極端に少なかったこともあり、目標稼働率を達成できなかった。

令和元年度と比べると、利用者が年間延べ人数で151名減少し、介護保険収入も約110万円の減収となった。

(2) 稼働率向上に関する取り組みについて

入院や体調不良、感染症、施設入所等でのキャンセルがあったが、居宅と連携を取り、空床を埋めるよう努めた。

最近の傾向として、コロナの影響もあり、見学や家族からの問い合わせが少なくなっている。長期利用の依頼はあるが、間に1日でも満床の日があれば続けて利用できない為、断るケースも数件あった。

(3) 認知症に関する取り組みについて

日中、帰宅要求等があって落ち着かない利用者に対しては、興味のある手作業等を準備するなどして対応した。また、日々のミーティングを通して状態の確認を行い、個別ケアについての意見交換を行うなど、今後の対応を検討した。夜間帯については、好きなTV番組を録画しておいて視聴してもらったり歌番組を付けたりしながら、自宅で過ごしているような雰囲気を作り、落ち着いた環境で過ごせるように配慮した。

認知症対応について、対応が困難な利用者へのアプローチが充分でなく、苦手意識から積極的な関りを持たずに対応に困る職員もいる為、研修等を通して認知症利用者への理解や知識を深めていく必要がある。

サービス内容

(1) 食事

食事は在宅生活の延長上にあることから、利用者の目の前で料理を取り分けて配膳するなど、自宅での食事風景と同様の対応を行った。また、感染症予防で当初予定していた物とは内容を変えたものの、提供の仕方を工夫したことで、例年のように行事食も提供することができた。感染状況を見極めながらおやつレクも行い、利用者と一緒に季節のお菓子作りも行った。

水分補給においても、各テーブルにポットを置くことで各自が自分の意思で飲みたい時にお茶を入れることができるようにするなど、環境に配慮した取り組みを行った。また、水分ゼリーの提供により、水分量を増やすこともできた。水分量の少ない方については、個別で水分チェックを行い、少しでも多く水分が摂れるよう促した。おやつの飲み物も選択性にし、ご利用者の嗜好に合わせたサービスを提供した。

(2) 入浴

利用者一人ひとりの介助部分を把握し、時間がかかっても自分でできることはしてもらうことを目標に、自立を目指した入浴介助を行うことができた。

午前と午後に入浴時間を設けている為、希望の時間に広い浴槽でゆったり入浴することが可能になるとともに自宅では味わえない開放的な気分になり、利用者が喜ばれている。

(3) 排泄

自立支援の観点から、自宅での排泄動作を考慮したトイレ誘導を基本として、個別に対応した。家族とも連携を取り、便秘の方には排便チェックを行うとともに、家族の依頼に合わせた浣腸や薬の調整等による排便コントロールに努めた。また夜間帯は、状態に合わせてポータブルトイレを自室に設置することで、安全に排泄していただくことができた。

(4) 機能訓練

利用者が楽しみながらできる個別及び全体プログラムを計画し、希望者には併設のデイサービスのレクリエーションにも参加していただいた。また、身体機能の維持向上に繋がるようにと、いきいき百歳体操等の体操を積極的に取り入れ、毎日取り組んでいる。体操の内容も、ゴムやボール、タオルを活用するなど、バラエティーに富んだメニューを提供し、心身ともに活動的に過ごせるよう努めた。

(5) 健康状態の確認

送迎時の家族とのコミュニケーションや連絡帳を通じて、利用者の健康状態を把握した。利用時には体温・血圧・脈を測定し、看護職員が中心となり、その日の健康状態を確認した。また、必要に応じて家族や主治医と連携し、指示に基づいた対応を行った。

新型コロナウイルスの流行に伴い、在宅での検温を含めた体調確認を継続して行った。また、デイホールのテーブルへのパーテーション設置や、うがい・手洗いの励行、マスク・手袋の着用など、感染対策委員会の指示のもと感染予防に努めた。

(6) 送迎サービス

送迎時間については、家庭状況や身体状況等、個別ニーズに応じた対応を心がけ、状況に応じて運行ルートを変更するなどして臨機応変に対応した。

利用前日には送迎時間の連絡を行い、当日は必要に応じて火元、荷物、鍵、注意事項等を確認するなど、利用者及び家族に安心してショートを利用していただけるよう支援した。

令和2年度加算取得一覧表

ショートステイセンター サイト

加算項目	単位	実人数	延人数	取得率 ※1	稼働率100% の場合	実収入額	差額
サービス提供 体制加算	18	179	1,821	83%	394,200	327,780	△ 66,420
送迎加算	184	161	661	※2		1,216,240	
					394,200	1,544,020	△ 66,420

※1 各月の取得率は定員数に日数をかけた数で延べ人数を割った数字となっている。

※2 当加算については、該当利用者へ算定するものであり、取得率等表示しない。

【ショートステイセンターサイト利用者構成表】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計/平均	
	実数	延数	実数	延数																						
介 要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
護 要介護2	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
予 合計	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2
防 平均要支援度	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.0	

介 要介護1	2	6	2	5	1	3	3	7	5	25	5	47	5	24	5	33	3	18	5	44	5	29	3	23	44	264
護 要介護2	7	55	8	58	8	64	8	62	8	57	6	51	7	52	6	58	6	41	5	46	5	31	3	34	77	609
保 要介護3	6	91	6	100	6	102	6	84	4	71	5	62	4	69	4	59	3	60	4	75	4	70	4	84	56	927
要介護4							1	5																	1	5
要介護5													1	16											1	16
合計	15	152	16	163	15	169	18	158	17	153	16	160	17	161	15	150	12	119	14	165	14	130	10	141	179	1,821
平均要介護度	2.6		2.6		2.6		2.6		2.3		2.1		2.6		2.2		2.4		2.2		2.3		2.4		2.4	

利用者計	15	152	16	163	15	169	19	160	17	153	16	160	17	161	15	150	12	119	14	165	14	130	10	141	180	1,823
事業日数	30	31	31	30	30	30	31	31	31	30	30	30	31	31	30	30	31	31	31	31	31	28	31	31	365	
1日平均利用者数	5.1	5.3	5.3	5.6	5.2	5.2	4.9	5.2	5.2	5.2	5.3	5.3	5.2	5.2	5.0	5.0	3.8	3.8	5.3	5.3	5.3	4.6	4.5	4.5	5.0	
満床率	84.4%	87.6%	87.6%	93.9%	86.0%	86.0%	82.3%	86.0%	82.3%	88.9%	88.9%	86.6%	86.6%	86.6%	83.3%	83.3%	64.0%	64.0%	88.7%	88.7%	88.7%	77.4%	75.8%	75.8%	83.2%	

ショートステイ サイト 利用者 延人数推移

